

1984, 9, 金沢.

12) 真館藤夫, 水分寿雄, 吉森寿美代, 杉本裕史, 小竹 彌, 星野照宗, 土生清春, 沖田 進, 澤本正登, 山本康一, 古田 勲: 乳歯胚に関連したと思われる Odontoma の 1 例. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

13) 古田 勲, 水分寿雄, 山本康一, 吉森寿美代, 沖田 進, 早津良和, 寺田周明, 小泉富美朝, 小浜源都: hypertrichosis を伴う idiopathic gingival fibromatosis の 1 症例に関する研究 臨床病理学的検討. 第29回日本口腔外科学会総会, 1984, 9, 札幌.

14) 吉森寿美代, 梶村悦朗, 水分寿雄, 根尾満, 山本康一, 古田 勲, 広瀬三智子, 桃井啓子, 荻田善一: hypetrichosis を伴う idiopathic gingival fibromatosis の 1 症例に関する研究 病態生化学的検討, 1984, 9, 札幌.

15) 杉本裕史, 吉森寿美代, 真館藤夫, 水分寿雄, 小竹 彌, 沖田 進, 山本康一, 古田 勲, 澤本正登: 巨大な舌下・顎下型ガマ腫の 1 例. 第27回日本口腔科学会中部地方会, 1984, 11, 名古屋.

16) 田中 貢, 真館藤夫, 吉森寿美代, 小竹 彌, 水分寿雄, 沖田 進, 澤本正登, 山本康一, 古田 勲: 上顎洞内に発生した巨大な濾胞性歯嚢胞の 1 例. 第27回日本口腔科学会中部地方会, 1984, 11, 名古屋.

17) 梶村悦朗, 真館藤夫, 吉森寿美代, 小竹 彌, 水分寿雄, 沖田 進, 澤本正登, 山本康一, 古田 勲: 富山医科薬科大学附属病院歯科口腔外科における術後性上顎嚢胞の臨床統計的観察. 第27回日本口腔科学会中部地方会, 1984, 11, 名古屋.

18) 吉森寿美代, 古田 勲, 荻田善一: 全身的な hypertrichosis を伴った idiopathic gingival fibromatosis の 1 例. 第29回日本人類遺伝学会, 1984, 11, 富山.

19) 小西可南, 山中茂広, 高橋省三, 諸橋正昭, 古田 勲: Idiopathic gingival fibromatosis に合併した hypertrichosis の 1 例. 第20回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1984, 11, 金沢.

#### ◆ その他

1) 沖田 進, 杉本裕史, 真館藤夫, 山本康一, 古田 勲: 口腔外科領域におけるクリニミールの使用経験. クリニミール新発売記念講演会, 1984, 12, 富山.

## 和 漢 診 療 部

助 教 授 寺 沢 捷 年  
助 手 土 佐 寛 順  
助 手 桧 山 幸 孝

#### ◆ 原 著

1) 寺沢捷年, 松田治巳, 今田屋章, 土佐寛順, 三瀨忠道, 鳥居塚和生, 本間精一: 自家製・桂枝茯苓丸の臨床効果に関する研究. 日本東洋医学雑誌 **35**: 55—60, 1984.

2) 鳥居塚和生, 本間精一, 中川輝昭, 木村昌行, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 桃核承気湯エキス顆粒剤と煎剤との比較. 病院薬学 **10**: 29—34, 1984.

3) 田中三千雄, 若林泰文, 坂東 毅, 七沢 洋, 本間 保, 稲土修嗣, 野尻裕之, 渋谷 隆, 窪田芳樹, 島田一彦, 藤倉信一郎, 斎藤清二, 佐々木 博, 加藤弘己, 土佐寛順, 龍村俊樹, 麓 耕平: 内視鏡像の客観的表示に関する研究 (第一報) —色調の客観的表示を目的とした装置の開発とその性能について—. Gasiroenterological Endoscopy **26**: 514—523, 1984.

4) 足立伊左雄, 安田晶子, 松原利行, 上野雅晴, 寺沢捷年, 堀越 勇: Macrophage Procoagulant Activity に及ぼす漢方煎剤液の影響 (第一報). 薬学雑誌 **104**: 959—965, 1984.

5) 三瀨忠道, 井沢敬子, 横沢隆子, 大浦彦吉, 山本昌弘, 川島祐次: 薬用人参サポニン ginsenoside のコレステロール代謝改善作用について. 和漢医薬学会誌 **1**: 15—21, 1984.

6) 渡辺裕司, 萩原昌樹, 東田道久, 桧山幸孝, 寺沢捷年, 渡辺和生: 桂アルデヒドの中枢作用. 薬学雑誌 **104**: 1095—1100, 1984.

7) 伊藤 隆, 鈴木良一, 浅田 学, 木村邦夫: 肝内動内脈瘻と消長する門脈四栓を合併した門脈圧亢進症の一例. 臨床放射線 **29**: 1415—1418, 1984.

8) 加野軒作, 安田晶子, 金本郁男, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 桂枝加朮湯, 桂枝二越婢一湯加附子, 桂枝芍薬知母湯の抗炎症作用. 和漢医薬学会誌 **1**: 249—253, 1984.

9) 三瀨忠道, 寺沢捷年, 横沢隆子, 大浦彦吉: 大黃並びに大黃含有漢方方剤による慢性腎不全の治療に関する研究 (第一報). 和漢医薬学雑誌 **1**: 266—278, 1984.

#### ◆ 総 説

1) 今田屋章：医原病と東洋医学。からだの科学 116：83—90, 1984.

2) 寺沢捷年：気管支喘息—私の薬物療法。漢方薬。治療 66：885—890, 1984.

3) 寺沢捷年：漢方薬による疼痛の治療。総合臨床 33：1033—1034, 1984.

4) 山田 均, 伊藤達夫, 辻 陽雄, 玉置哲也, 平野典和, 西島宗孝, 寺沢捷年：頸椎症性変化を伴う脳脊髄疾患の臨床的検討。整形外科 35：1513—1512, 1984.

#### ◆ 学会報告

1) 寺沢捷年：(特別講演) めまい・平衡障害と和漢薬。第43回日本平衡神経科学会総会, 1984, 9, 富山.

2) 寺沢捷年：(教育講演) 瘀血の概念と泌尿器科疾患。第72回日本泌尿器科学会総会, 1984, 4, 徳島.

3) 寺沢捷年：(教育講演) 漢方医学の考え方。第48回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1984, 11, 浜松.

4) 寺沢捷年：(シンポジウム) 漢方治療により副腎皮質ステロイド剤の離脱に成功した慢性関節リウマチおよび気管支喘息の経験。第12回日本東洋医学会中四国支部総会鳥取大会, 1984, 3, 鳥取.

5) 寺沢捷年：(シンポジウム) 瘀血証の症候解析と血液学的検討。公開シンポジウム 昭和59年度文部省科学研究費補助金総合研究(B) “天然資源の医薬品の開発と応用に関する総合的研究” 1984, 12, 西宮.

6) K. Terasawa：(symposium) The Role of Traditional Chinese Medicine in The Contemporary Health Care in Japan. XVIIth International Congress of Internal Medicine, 1984, 10, Kyoto.

7) 宮本市郎, 松下栄紀, 東野 朗, 内田 諭, 小川忠邦, 新谷卓弘, 寺沢捷年：Shy-Drager 症候群の1例。第122回日本内科学会北陸地方会, 1984, 3, 金沢.

8) 新谷卓弘, 土佐寛順, 今田屋章, 松山幸孝, 三瀧忠道, 寺沢捷年：慢性関節リウマチ経過中に発症したSLEの1例。第122回日本内科学会北陸地方会, 1984, 3, 金沢.

9) 加野軒作, 安田晶子, 大内将斗, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年：和漢方剤の抗炎症効果 (1)実験炎症モデルに対する抑制効果。日本薬学会第104年会, 1984, 3, 仙台.

10) 金本郁男, 小太刀真人, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年：西洋薬の体内動態に及ぼ

す和漢薬の影響 (第一報) 一家兎におけるフェニトインと柴胡桂枝湯の併用について。日本薬学会第104年会, 1984, 3, 仙台.

11) 渡辺裕司, 荻原昌樹, 東田道久, 松山幸孝, 寺沢捷年, 渡辺和夫：桂アルデヒドの中樞作用 (第2報)。日本薬学会第104年会。1984, 3, 仙台.

12) 寺沢捷年, 今田屋章, 土佐寛順, 鳥居塚和生, 三瀧忠道, 坂東みゆ紀：瘀血病態に関する研究 (第2報) 瘀血スコアの分布と血液学的検査について。

第30回日本東洋医学会学術総会, 1984, 5, 鹿児島.

13) 土佐寛順, 寺沢捷年, 今田屋章, 坂東みゆ紀, 松山幸孝, 三瀧忠道：胃内停水の研究 (第2報)。第35回日本東洋医学会学術総会, 1984, 5, 鹿児島.

14) 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀧忠道, 坂東みゆ紀：慢性関節リウマチに対する桂枝芍薬知母湯の応用。第35回日本東洋医学会学術総会, 1984, 5, 鹿児島.

15) 坂東みゆ紀, 寺沢捷年, 鳥居塚和生, 金岡又雄：生薬成分の血中濃度の定量に関する研究 (第一報) グリチルリチン, グリチルレチン酸について。第35回日本東洋医学会学術総会, 1984, 5, 鹿児島.

16) 本間精一, 鳥居塚和生, 木村昌行, 加野軒作, 堀越 勇, 寺沢捷年：当院における和漢薬調剤の諸問題。第35回日本東洋医学会学術総会, 1984, 5, 鹿児島.

17) Terasawa K. : On a Concept of “Blood stasis Syndrome” in Chinese Medicine. The 1st Congress of the Asian Chapter of the International College of Psychosomatic Medicine, 1984, 5, Tokyo.

18) 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀧忠道：慢性関節リウマチの和漢薬治療。第28回日本リウマチ学会総会, 1984, 5, 東京.

19) 寺沢捷年, 松山幸孝, 渡辺裕司：平山病(若年性非進行性筋萎縮症)に伴う寒冷麻痺症状に対する和漢薬治療の試み。第25回日本神経学会総会, 1984, 5, 札幌.

20) 三瀧忠道, 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 伊藤 隆, 松山幸孝：成人発症 still 病の1例。第124回日本内科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

21) 三瀧忠道, 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 伊藤 隆, 松山幸孝：成人発症 still 病の1例。第124回日本内科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

22) 堀越 勇, 上野雅晴, 足立伊左雄, 中川輝昭, 鳥居塚和生, 寺沢捷年：製剤学からみた漢方剤

形. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

23) 東田道久, 渡辺裕司, 荻原昌樹, 松山幸孝, 寺沢捷年, 渡辺和夫: 桂アルデヒドの中樞作用 (第3報) レセルピン処置マウスにおける作用. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

24) 坂東みゆ紀, 寺沢捷年, 矢野三郎, 加藤弘己, 金岡又雄, 平手純司, 堀越 勇: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

25) 寺沢捷年, 松山幸孝, 土佐寛順, 渡辺祐司: 自律神経発作「奔豚気病」の病態解析. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

26) 鳥居塚和生, 寺沢捷年, 今田屋章, 三瀧忠道, 川尻ゆかり: 血小板アラキドン酸代謝におよぼす和漢薬の効果, 血小板凝集能とMDA値の変動. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

27) 鄭平東, 鄭海泳, 鈴木奈緒美, 横沢隆子, 大浦彦吉, 三瀧忠道: アデニン誘発慢性腎不全ラットに対する漢方方剤温脾湯の効果について. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984, 9, 富山.

28) 鳥居塚和生, 川尻憲行, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 線溶一凝固系酵素に対する生薬の作用. 日本生薬学会第31回年会, 1984, 10, 東京.

29) 松山幸孝, 寺沢捷年: 小脳性運動失調症を伴った甲状腺機能低下症(橋本病)の一例. 千葉医学会例会, 1984, 10, 千葉.

30) 今田屋章, 黒田 惇, 金木美智子, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松田治己: 和漢薬治療が有効であったOverlap症候群(RB+PSS)の2例. 第10回日本東洋医学会北陸支部会例会, 1984, 11, 富山.

31) 高橋宏三, 山本 樹, 松山幸孝, 土佐寛順, 寺沢捷年: 桃花湯による潰瘍性大腸炎の治療経験. 第10回日本東洋医学会北陸支部会例会, 1984, 11, 富山.

32) 山本 樹, 河内ふゆみ, 松山幸孝, 今田屋章, 寺沢捷年: 慢性関節リウマチに続発した消化管アミロイドーシスの一例. 第10回日本東洋医学会北陸支部会例会, 1984, 11, 富山.

33) 河内ふゆみ, 三瀧忠道, 土佐寛順, 寺沢捷年, 藤平 健: 分消湯が奏効したと考えられるネフローゼ症候群の1例. 第10回日本東洋医学会北陸支部会例会1984, 11, 富山.

34) 平林多津司, 伊藤 隆, 三瀧忠道, 寺沢捷年, 小倉重成: 赤丸の使用経験. 第10回日本東洋医学会北陸支部会例会, 1984, 11, 富山.

35) 川村和弘, 中田貴子, 加藤弘己, 矢野三郎,

金岡又雄, 坂東みゆ紀: 低分子物質の酵素免疫測定法における架橋の研究—架橋の違い 組み合わせにより感度は上昇するか?. 第24回日本臨床化学会年会, 1984, 11, 仙台.

#### ◆ その他

1) 寺沢捷年他: 瘀血証の症候分析と診断標準刎訊. 国外医学中医中薬分冊 1号: 1—5, 1984.

2) 寺沢捷年他: 活血化瘀剂的血液学研究—対全血粘度的影响. 国外医学中医中薬分冊 2号: 53—1984.

3) 鳥居塚和生, 寺沢捷年, 堀越 勇: 瘀血病態におけるFibrinogen Heterogeneityに関する研究(第一報). 和漢医薬学会誌 1: 52, 1984.

4) 松山幸孝, 寺沢捷年, 今田屋章, 土佐寛順, 三瀧忠道: 難治性神経性疼痛に対する和漢薬治療の試み. 和漢医薬学会誌 1: 56, 1984.

5) 土佐寛順, 寺沢捷年, 坂東みゆ紀, 今田屋章, 松山幸孝, 三瀧忠道: 心下痞鞭の診断的意義とその関連生薬について. 和漢医薬学会誌 1: 84, 1984.

6) 中野 護, 井上恭一, 佐々木博, 寺沢捷年: 桂枝湯のT cell subsets, mitogenの活性におよぼす効果について. 和漢医薬学会誌 1: 94, 1984.

7) 嶋田 豊, 寺沢捷年, 今田屋章, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀧忠道, 松田治己, 伊藤 隆: 難治性喘息に対する和漢薬治療の試み. 和漢薬学会誌 1: 122, 1984.

8) 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀧忠道, 嶋田 豊, 松田治己: 慢性関節リウマチの和漢薬治療—第2報—. 和漢医薬学会誌 1: 164, 1984.

9) 小橋恭一, 中田孝紀, 竹部幸子, 寺沢捷年: 証と腸内フローラとの関係. 和漢医薬学会誌 1: 166, 1984.

10) 三瀧忠道, 井沢敬子, 横沢隆子, 大浦彦吉, 山本昌弘, 川島祐次. 薬用人参サポニン(Ginsenoside)のコレステロール代謝改善作用について. 和漢医薬学会誌 1: 176, 1984.

11) 新谷卓弘, 松田治己, 三瀧忠道, 土佐寛順, 今田屋章, 寺沢捷年: 骨軟化症の1例. 北陸骨Ca代謝談話会報告集 第5集: 17—19, 1984.

12) 寺沢捷年: 勿誤薬室方函口訣解説(52). 「漢方医学講座(25)」, 95—102, 協和企画出版, 1984.

13) 平山恵造, 寺沢捷年, 廖 英一, 松田邦夫: 座談会 頭痛の治療をめぐる. 現代東洋医学 5: 62—75, 1984.

14) 寺沢捷年: 富山医科薬科大学. 和漢診療部の現状と展望. 漢方の臨床 31: 101—106, 1984.

15) 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀨忠道, 松田治己: PSS と RA の overlap 症候群の 2 例. 第13回北陸リウマチ研究会, 1984, 7, 金沢.

16) 三瀨忠道, 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝: 成人発症の若年性関節リウマチの 1 例. 第13回北陸リウマチ研究会, 1984, 7, 金沢.

17) 河内ふゆみ, 三瀨忠道, 松山幸孝, 寺沢捷年, 加藤義治, 藤倉信一郎: 胃切除後, カルシウム吸収不全による骨軟化症をきたしたと考えられる 1 例. 第 6 回北陸骨 Ca 代謝談話会, 1984, 10, 金沢.

18) 寺沢捷年: 血小板アラキドン酸代謝に及ぼす和漢薬の効果—血小板凝集能MDA値の変動—. 第 1 回富山和漢薬懇話会, 1984, 11, 富山.

19) 荻田善一, 堀越葉子, 井上恭一, 佐々木博, 今田屋章: 組織内 SOD の電気泳動的解析法. 日本臨床代謝学会記録 (XX): 202—203, 1984.

20) 井上恭一, 康山俊学, 古谷田裕久, 佐々木博, 堀越葉子, 荻田善一: 各種肝疾患における肝組織中 SOD の電気泳動的解析. 日本臨床代謝学会記録 (XX): 200—201, 1984.

## 検 査 部

教 授 桜 川 信 男  
助 手 高 橋 薫  
助 手 近 藤 信 一

### ◆ 著 書

1) 小出武比古, 高橋 薫, 桜川信男: 追加: 異常 ATIII “Toyama” の精製と分子異常解析. 「立山シンポジウム II 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床—」桜川信男他編, 131, 宇宙堂八木書店, 1984.

2) 桜川信男, 高橋 薫, 近藤信一他: 異常アンチトロンビンIII血症における進行性アンチトロンビンとヘパリンコファクター活性の特徴. 「立山シンポジウム II 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床—」桜川信男他編, 132—136, 宇宙堂八木書店, 1984.

3) 桜川信男: 血液凝固線溶系の検査. 「チャートによる検査診断学」屋形 稔他編, 410—433, 金原出版, 1984.

4) 桜川信男, 新井弘之, 宮川照夫: 止血機能障害. 「脳神経外科 術前・術中・術後管理」佐野圭司編, 272—290, へるす出版, 1984.

5) 桜川信男他編: 先天性アンチトロンビンIII欠乏症および異常症. 「血液疾患 症例・解説・検査」

血液凝固編」藤巻道夫他編, 213—234, 医学書院, 1984.

### ◆ 原 著

1) Koide T., Sakuragawa N., Odani S., Takahashi K., and Ono T.: Antithrombin III Toyama: Replacement of arginine-47 by cysteine in hereditary abnormal antithrombin III that lacks heparin-binding ability. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 81: 289—293, 1984.

2) 新井弘之, 宮川照夫, 桜川信男: 急性期閉塞性脳血管障害に対する我々の治療方針. 脳卒中 6: 144—147, 1984.

3) 桜川信男, 近藤信一, 丹羽正弘: 異常アンチトロンビンIII (富山) の電気泳動的解析. 生物物理化学 28: 37—42, 1984.

4) 宮川照夫, 桜川信男: 脳血管と血栓症. 臨床血液 25: 1018—1026, 1984.

5) 山岸良一, 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男: ヘパリン・コファクターIIの精製の試み. 血液と脈管 15: 361—363, 1984.

6) 丹羽正弘, 山岸良一, 近藤信一, 桜川信男: 和漢薬の生化学的・酵素学的研究. 血液と脈管 15: 375—377, 1984.

7) 小川 宏, 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎建二郎, 桜川信男: 血液凝固異常と病理からみた脳幹(橋)出血の考察. 医学のあゆみ 131: 168—172, 1984.

8) Kondo S., Takahashi K., Niwa M., Yamagishi R., and Sakuragawa N.: Abnormal Antithrombin III “Toyama” and Heparin. Acta Medica et Biologica 32: 115—121, 1984.

9) Sakuragawa N., Yuasa K., Niwa M., and Kondo S.: Studies on Wakan-Yakus (Traditional Drugs): Inhibitory Effects of Gaiyoh (Artemisiae Folium) and Sanshishi (Gardeniae Fructus) on Blood Coagulation: Acta Medica et Biologica 32: 107—113, 1984.

10) Sakuragawa N., Kondo S., Niiya K., and Miyoshi I.: Oral Treatment of Hemophilia A and von Willebrand's disease: Jap. J. Med. 23: 394, 1984.

11) Takahashi K., Aiken M., Fenton J. W., and Walz D. A.: Thrombospondin fragmentation by  $\alpha$ -thrombin and resistance to  $\gamma$ -thrombin: Biochem. J. 224: 637—676, 1984.

### ◆ 総 説

1) 熊谷 朗, 桜川信男: 血栓症と食習慣. 臨床検査 28: 38—45, 1984.